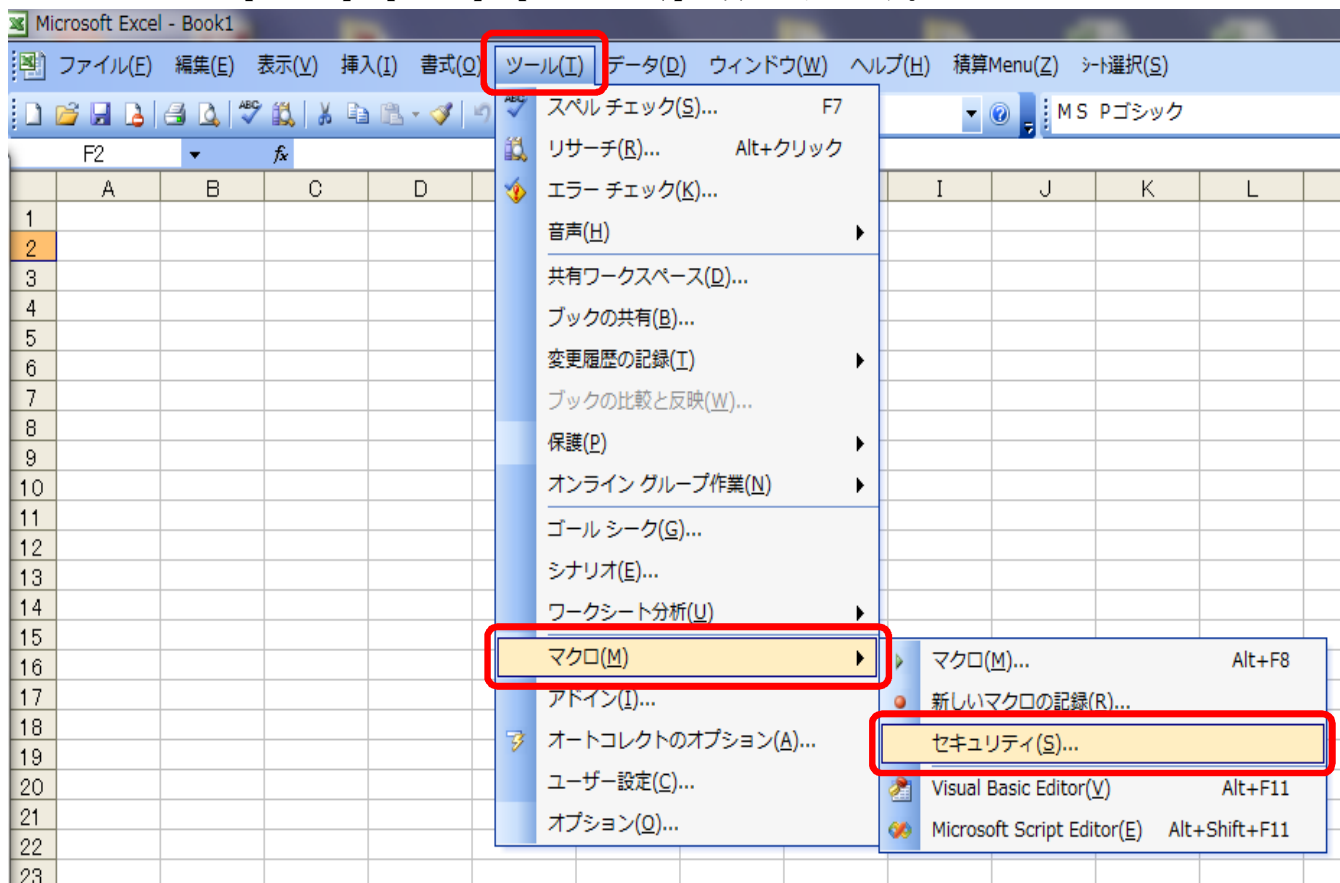


◆◆◆ Excelのマクロを有効にする方法 ◆◆◆

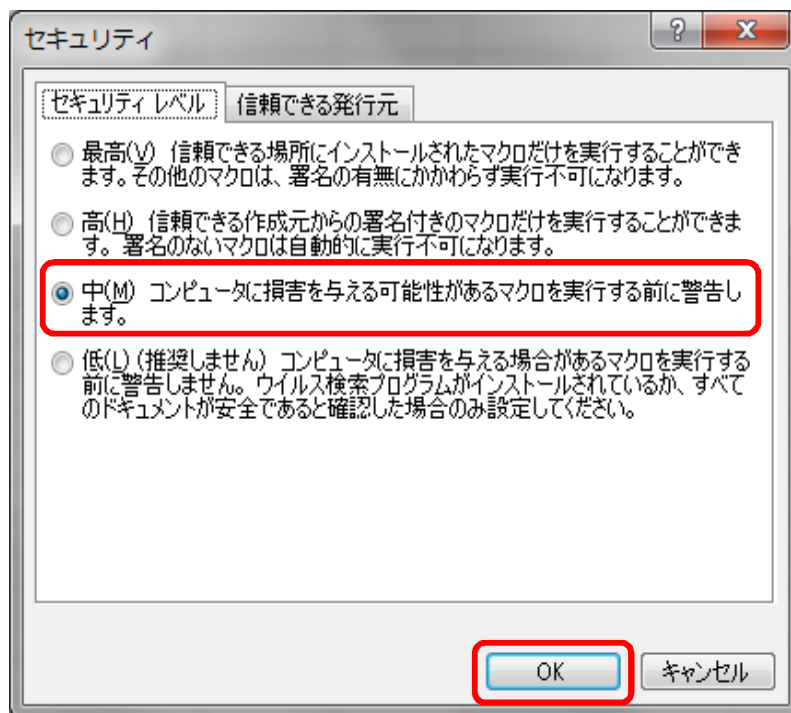
- ☐ 本ソフトを利用するには、マイクロソフト社の表計算ソフトExcel【 Excel2000以上 】が必要です。
- ☐ 本ソフトを利用する際、Excelのマクロを有効にする必要があります。
- ☐ Excelのバージョンによって、マクロ有効化の方法が異なります。
- ☐ Excelのマクロが有効にならない場合は本説明書を参考にして下さい。

① Excel2003の場合

ツールバーの【ツール】→【マクロ】→【セキュリティ】の順に選択します。

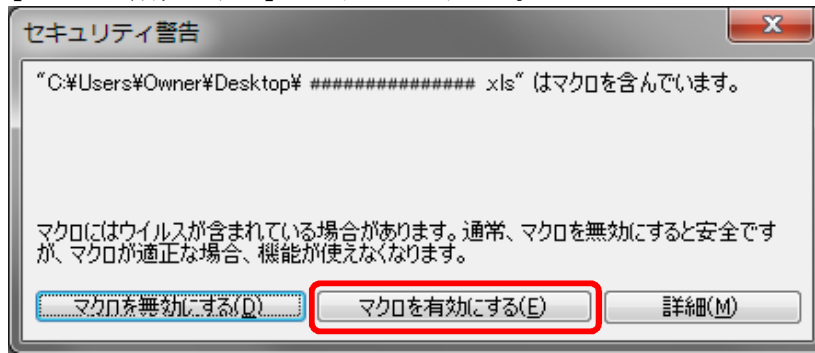


【セキュリティ レベル】を【中】を選択して
【OK】ボタンを左クリックして下さい。



次ページへ

マクロを含むソフト立ち上げ時には、下の様な画面が表示されますので【マクロを有効にする】をクリックして下さい。



② Excel2007以降の場合

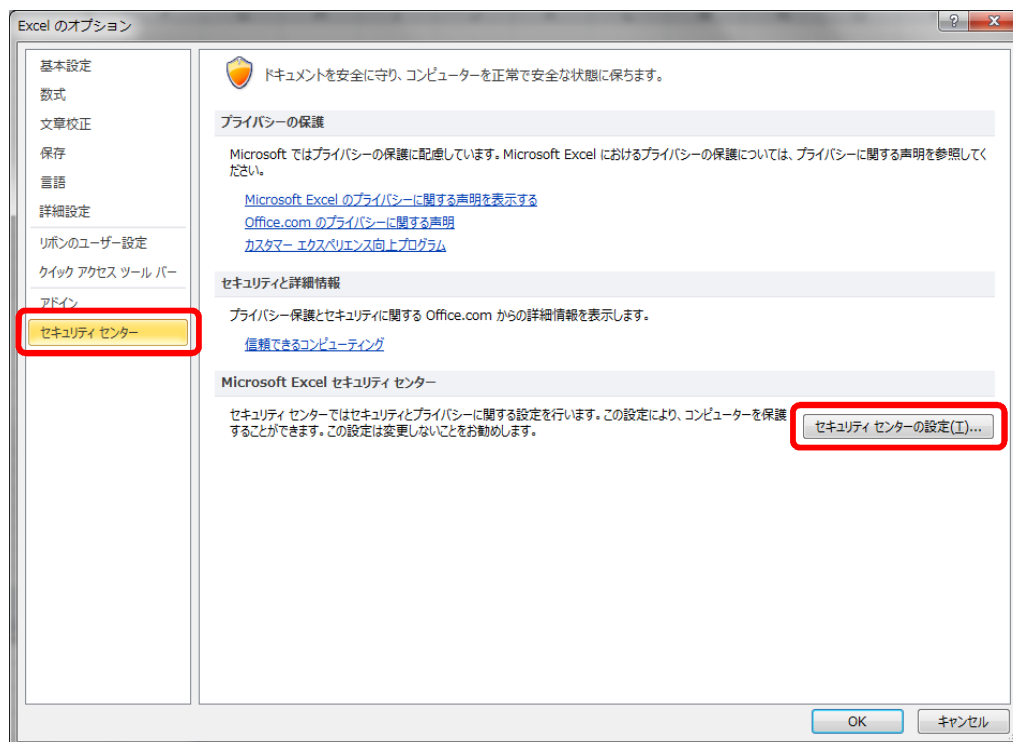
Excel2007の場合、画面左上の丸い【Office】ボタンをクリックし、展開されるメニュー右下の【Excel のオプション】をクリックします。

Excel2010以降の場合、【ファイル】→【オプション】を選択します。

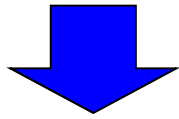


【Excelのオプション】で【セキュリティセンター】カテゴリを選択します。

続いて【セキュリティセンターの設定】をクリックします。

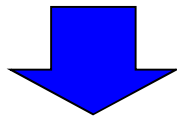
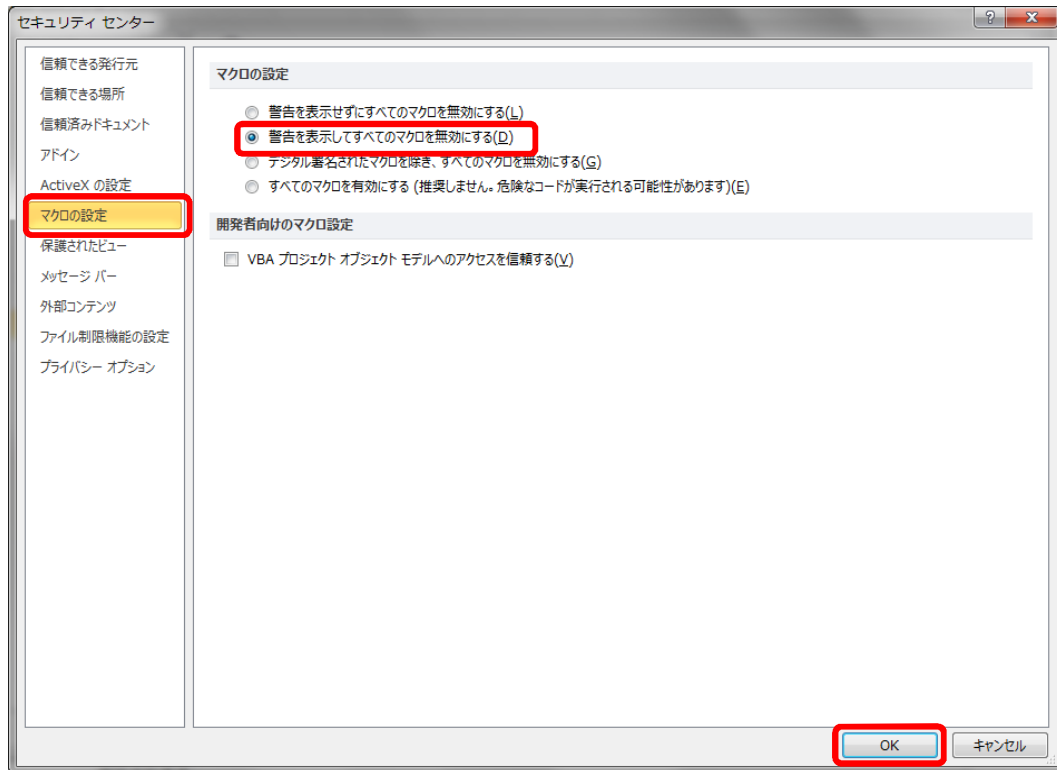


前ページから

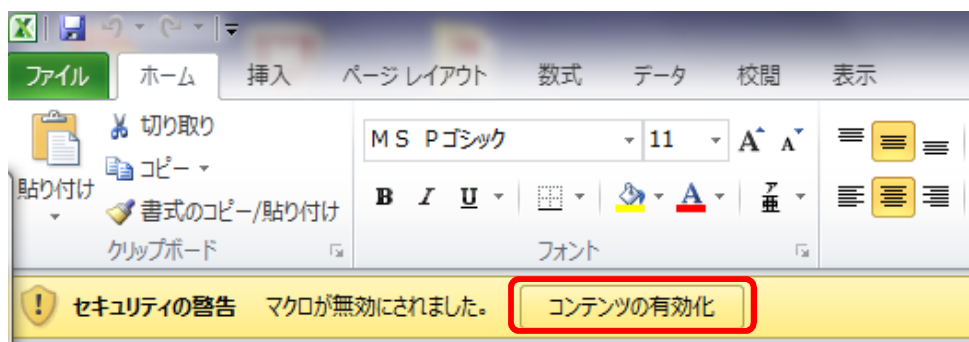


【セキュリティセンター】で【マクロの設定】カテゴリを選択します。
【マクロの設定】の中から【警告を表示してすべてのマクロを無効にする】を選択し、
【OK】をクリックします。

※【すべてのマクロを有効にする】を選択すると無条件にマクロが有効となります。



マクロを含むブック立ち上げ時には【マクロが無効にされました】と表示されます。
【コンテンツの有効化】をクリックするとマクロが有効となります。



マクロを含むブック立ち上げ時に上記メッセージバーではなく、Excel2003で説明の様なセキュリティに関する警告(通知)画面が表示されることがあります。
この場合は、Excel2003と同様に【マクロを有効にする】をクリックして下さい。

※マクロの設定で、【すべてのマクロを有効にする】を選択した場合、セキュリティの警告は表示されず、マクロが有効化された状態でソフトが立ち上がります。